

## ★2015年～2017年の環境学習会の実績

	開催日	テーマ	講師
89回	2017.8.11	「Eco テック&ライフとちぎ」の出展 地球温暖化による生き物の影響について、「温暖化による栃木の生物相の変化」を提案したい。	市川恭治
88回	2017.7.8	【新種のサンショウウオのエピソード】	市川恭治
87回	2017.3.11	「第6次産業化・地産地消について」 農産物の生産(一次産業)*加工(二次産業)*販売(参事産業)=6次産業(農業の活性化)の助言	塩山房雄
86回	2017.1.14	「地球環境対策:カーボン・ニュートラルとは」 地球環境対策のカーボンの排出と吸収を同じにすることの課題	近藤和雄
85回	2016.12.10	「最新の地震情報」 TECA ニュース53号の資料を基に、地震情報を解説した。	近藤和雄
84回	2016.10.8	「栃木県農業の特徴と課題並びに楽しむ方法について」 栃木県農産物の紹介と園芸作物の紹介	塩山房雄
83回	2016.9.11	「NPO 法人の留意点」 法人に絡む法律、決め事等の説明	三浦四郎
82回	2016.8.7	「外来種の対策」	市川恭治
81回	2016.4.9	「省エネ法:特定エネルギー消費機器」 複写機やプリンターの省エネ機器の説明です。	安場 博
80回	2016.3.12	「電力小売りの自由化について」 電力の自由化の背景、発電、送電、小売りの役割と課題について、消費者が剪定で注意しなければならない事項の説明です。	近藤和雄
79回	2016.2.14	「田んぼダム」 新潟市横江地区の「田んぼダム」を紹介し、「田んぼダム」は、水害に強い地域づくりに貢献していることを説明した。	中茎
78回	2016.1.9	「いわゆる健康食品」の正しい認識と「農業分野での TPP の影響と課題」の説明	安場博、 塩山房雄

77 回	2015.12.12	<p><b>「空家・空地进行放置するとどんな問題が起こる？」</b></p> <p>ご自身が携わった経験を踏まえ、「空き家対策特措法」を交えながら、その背景となる相続手続き及び高齢化社会の課題や、その結果として生じる環境問題についてのお話をいただきました。</p>	近藤和雄
76 回	2015.10.10	<p><b>「公共工事と環境」</b></p> <p>大規模公共工事と環境への影響等の関係について事例によって説明をいただいた。</p>	市川恭治
75 回	2015.7.11	<p><b>「宇都宮のまちづくりを考えよう」</b></p> <p>宇都宮市のまちづくりについて、さまざまなデータにより他県都市との比較などを交えながら宇都宮市の課題等について説明をいただき、そのうえで公共交通の果たす役割や LRT のメリット・デメリットの説明をいただいた。</p>	遠藤和信
74 回	2015.6.7	<p><b>「Eco to Share」参加発表会」</b></p> <p>栃木県地球温暖化防止活動推進センターが主催する「Eco to Share」に参加し、お借りた機器（ワットモーター、ワットモニター付きエコタップ、エコドライブモニターなど）を使った方も含め、出席全員が環境配慮の取組みを発表した。栃木県地球温暖化防止活動推進センターの増淵事務局長にも参加頂いた。</p>	中井嘉一郎
73 回	2015.4.11	<p><b>「ESD(持続可能な開発のための教育)について」</b></p> <p>第5回 ECU 環境カウンセラー全国交流会(昨年 11 月名古屋開催)の報告事例をもとに、今後の学校教育への関与等の話</p>	渡邊重宣
72 回	2015.3.11	<p><b>「生物多様性－①言葉の起源とこれまでの経緯」2回目</b></p> <p>生き物の種分化と多様性及び「Deep Ecology」について具体的な事例を交えての説明とケーススタディを行った。</p>	森島啓司
71 回	2015.2.14		森島啓司

		<p><b>「生物多様性－①言葉の起源とこれまでの経緯」1回目</b></p> <p>言葉の起源と意味、社会的な取り組み経緯、生活とのかかわり、環境倫理と生物多様についての説明。</p>	
70回	2015.1.10	<p><b>「栃木の稲作り、単収増日本一の成果」</b></p> <p>30年前は、ワラ作りは日本一だが、米の収穫量では農業県としては下位に位置している状態を、2004年には、全国8位にまで収穫量を増やした技術的改善点等の話。</p>	塩山房雄